

令和3年度第1回福井支部評議会 議事概要報告

開催日時	令和3年7月15日(木) 14:00~16:10
開催場所	福井市地域交流プラザ 6F 607 研修室
出席評議員	青山評議員、伊藤評議員、遠藤評議員、北評議員、木村評議員、滝内評議員、玉川評議員、西川評議員、松本評議員(五十音順)
議 題	(1) 令和2年度決算について (2) インセンティブ制度の見直しについて (3) 健康づくり事業の広報について
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>(1) <u>令和2年度決算について</u> 主な意見なし。</p> <p>(2) <u>インセンティブ制度の見直しについて</u> 【学識経験者代表】 インセンティブ制度を導入したことにより、各項目の実績は向上しているのか。</p> <p>【事務局】 各項目の実績は向上してきたが、コロナの影響もあり、令和2年度は前年度を下回っているものもある。インセンティブレポートなどを使い、実績が低い項目の説明をしながら、事業所に対し取り組み強化をお願いしている。</p> <p>【学識経験者代表】 ジェネリック医薬品については、子ども医療費制度の適用により、無料なら高い薬剤をという方向に流れて行ってしまうと思うが、その点の部分の見直しを図ることはできないのか。</p> <p>【事務局】 自治体が行っているものであるため、難しい。協会としては、加入者の保険料に跳ね返ってくるということをしっかりお伝えしたい。</p> <p>【学識経験者代表】 特定保健指導、特定健診といった用語がそもそもわかりにくい。わかりやすい用語にすることはできないのか。</p> <p>【事務局】 それぞれ2008年度から国が定めた制度で、特定健診は40歳以上の全ての国民に共通のフォーマットで健診を受けてもらう。特定保健指導はメタボリックシンドロームに該当する方に健康相談を受</p>

けてもらうというものである。国が定めた名称のため、協会での変更はできない。

広報においては、特定保健指導を「無料健康サポート」と置き換えている。

【学識経験者代表】

基本的な考え方については理解したが、具体的な数値を提示いただかないと想像がつかない。

【事務局】

次回の評議会にて、当テーマについて再度議論を予定している。その際には、シミュレーション結果を提示する予定である。

【被保険者代表】

インセンティブ制度については都道府県単位保険料率算定の際に、医療給付費にかかる部分とのダブルカウントになっているため、当初から導入に反対していた。見直し根拠に記載されている大規模支部がインセンティブを獲得しづらいとの意見はもっともであり、インセンティブ制度の見直しについては賛成である。

しかし、ウェイトの見直しは伸びしろが残されている大規模支部が有利になること、インセンティブ分の保険料率引き上げについては拠出が増えることから、この点については賛同いたしかねる。

【被保険者代表】

インセンティブ制度の見直しといったことが議論になっているが、そもそも加入者にインセンティブ制度が周知されていない現状である。インセンティブ制度を認識して、各項目に取り組むような事業所は少数であり、見直しの議論をするのは、時期尚早ではないか。

まずは、インセンティブ制度を広く周知し、そのうえで見直すべき問題点を共有するべきではないか。

【事務局】

ご指摘のとおり、インセンティブ制度の理解度はまだまだ低く、多くの事業所の関心ごとではないという意見ももっともだと思うので、並行して広報に努めていく。

(3) 健康づくり事業の広報について

各項目共通して頻出した意見

【事業主代表・被保険者代表・学識経験者代表共通】

社内イントラを活用して情報共有を図っており、当該情報を用いて自分たちが加工して利用することもできるよう電子ベースによる情報提供を行ってほしい。

【事務局】

可能な限り対応したい。ただし、協会内のセキュリティ規定により、事業所カルテ、インセンティブレポートは個人情報に該当し、外部と接続されているネット環境に保存することができないため、Eメールによる提供ができない。今後は紙ベースによる提供の際に、電子ベースによる提供が可能であることを明示し、ディスク媒体を郵送する形式で提供を行っていきたい。

①事業所カルテ

【学識経験者代表】

項目でのランキング付けを行って提供することはできないのか。

【事務局】

3年前まではランキング付けを行っていたが、指標の値が一定の箇所に集中しており、良い・悪いとの乖離差がほとんどないようなものも見受けられるため、取りやめた。

支部平均値や同業態平均値と比較し、自社の状況が良い・悪いを認識いただくことで、平均値を目標として取り組んでいただければと考えている。

【学識経験者代表】

最初の項目がいきなり医療費というのは、見た人へのインパクトが強すぎないか。

【事務局】

各項目の掲載順は、実際に事業所に対して説明する際の流れを考慮し作成している。まず医療費の現状として、地域の医療費に応じて保険料率が決定される仕組みを説明し、健診の受診状況や健診結果や生活習慣の状況を説明している。実際、医療費に一番興味を示される事業所は多い。

【被保険者代表】

当社では生活習慣要改善者の結果を踏まえて、支部内では平均を下回っているが、同業態では頑張っている等の状況がわかり助かっている。ウィークポイントとなっている項目については、社員にも意見をもらいながら改善に向けて取り組んでいる。

②インセンティブレポート

【事業主代表】

インセンティブ制度の理念が資料2の6ページに記載されているが、将来の医療費増加防止を目的とし、インセンティブを働かせることで加入者の行動変容を促すことを目指したものだ、強く訴えるようにしてはどうか。

【学識経験者代表】

加入者の頑張りが保険料率に影響するということを前面に押し出してはどうか。

また、セグメントごとに利用している色やアイコンの統一化を図ってほしい。

【被保険者代表】

事業所ごとの保険料率に反映されるような仕組みが導入できればいいと思う。

しかし、それは難しいと思うので上位に位置付けている事業所には景品を贈呈する等、レポートを入り口として、事業所に取り組むメリットを享受できる仕組みを検討してはどうか。

③健康づくりポスター

【事業主代表】

事業所では、どれを利用するか迷うこともあると思うので、今月のオススメみたいなものを協会側で用意してはどうか。

【被保険者代表】

各コースについては、複数のポスターを用意してほしい。特にメンタルコースは1つしか無いので、メンタルチェックの項目が記載されているものなど内容を充実してもらいたい。

【事務局】

予算に限りがある中で、今年度はこれまでのポスターのデザインを統一化することにした。来年度以降は申し込み状況も加味しながら、複数用意できるようにし、その中にメンタルチェック項目のポスター追加を検討したい。

④動画コンテンツ

【被保険者代表】

当動画のターゲットは個人になるのか。

【事務局】

会社の講習会として活用いただくことを基本としているが、個人でも活用できるようにチャプターを小分けにして区切るようにし、チャプター単位の動画を YouTube へも配信することにした。

事業所へは DVD で配布し、個人の方は協会ホームページから該当の動画へ誘導するような形を想定している。

【被保険者代表】

メンタルヘルスの内容にかかる動画を作製してはどうか。

【事務局】

当初は、事業所を訪問して実施している 5 つの講習会の動画を作成したかったが、予算を大幅に超過したため、福井支部の健康課題解消を主題とした内容とした。

なお、メンタルヘルスについては本部において、保険者として何ができるか、何をどこまで行うべきかも含め、効果的な予防対策を検討しており、来年度パイロット事業として実施。令和 5 年度に支部での実施を予定している。その結果を踏まえて動画を作製するかを検討していく。

⑤ハピリンビジョンおよびネット動画配信

【学識経験者代表】

YouTube の配信については、動画再生の前後や途中で挟まれる CM (以下、「リスティング広告」という。) として提供するのか。

【事務局】

当動画はアカウント掲載用動画としてアップロードを予定しており、リスティング広告として流すようなものではない。

当初はハピリンビジョンの放映のみを想定していたが、費用をかけずに YouTube に動画投稿できることとなった。今回作製の動画については、リスティング広告を含めた展開を検討したい。

【被保険者代表】

ハピリンビジョンで流すことを否定するわけではないが、それよりも病院の待合室や健康に関するイベント時に流すほうがより効果的なのではないか。

自分から協会アカウントの動画に見に行く場面はほとんどないと思うので、今後は見てもらえるような誘導を検討してほしい。

【被保険者代表】

放映時期を8月とした理由は何か。

【事務局】

8月からはハピリンビジョン以外にも特定保健指導のラジオCM、特定健診のテレビCMが放映されること、9月からは健康経営優良法人の申請がスタートされることから、メディアミックスによる効果的なPRを目的としてこの時期とした。

【学識経験者代表】

健康づくり宣言事業の広報をしながら、インセンティブ制度の理解浸透を目指したほうが、事業所の行動変容につながりやすいと思う。

⑥ラジオを活用した健康づくり広報

【学識経験者代表】

ターゲットを特定保健指導実施率が低い運輸業にしているとのことなので、運転のしすぎに注意、休憩中には体操に取り組もうといったような観点を含めても良いのではないか。

【被保険者代表】

運輸業の人はラジオ聴取率が高く、テレビよりも利用時間が長いと聞いたことがある。休憩されるような場所は決まっているはずなので、サービスエリア等に出向いてのチラシ配付等も検討してはどうか。

【被保険者代表】

ラジオの放映時間帯は、この時間帯の聴取率が最も高いということで選択したのか。

【事務局】

そこまでの把握はしていない。運輸業ということで、休日昼夜問わず運転しているであろうとの想定の下、広範な時間帯で放送したいと考えた。

時報スポットが7時であることについては、最も聴取率が高い時間帯ということで選択している。

⑦漫画を用いた特定保健指導パンフレット

【事業主代表】

漫画というには情報過多であり、最後までは読んでくれないと思う。文字数を少なくして、興味があればQRコードへ誘導するような方向で検討したほうが良い。

歩いている人がポスターを目にして、最低限必要な情報を取得できるくらいの内容が適当ではないか。

【事務局】

3分の2を漫画、3分の1を解説としており、漫画部分で興味が出た方には、解説部分を読んでもらうことを期待してこの構成とした。漫画部分の内容をこれ以上削ることについては難しいと考えている。

【被保険者代表】

自社では特定保健指導対象者には必ず受診するようにしている。会社として必ず受けてもらうように働きかけることが必要ではないか。

【事務局】

社員の健康を考えて、是非受けてもらいたいと考えている。就業時間中や会社の方が場所・時間のセッティングをしなければならないというところがネックになっているため、Web面談であれば、夜間・土日にも実施できるということをアピールし、実施向上に努めたい。

【学識経験者代表】

中身については良いと思う。ただ、漫画という媒体としては文字数が多く、最後までは読んでくれないと思う。補足内容の文字ももう少し大きくしたほうが良いのではないか。

【学識経験者代表】

動機付け支援、積極的支援の内容については、読んでもらえれば理解してもらえらると思う。

パンフレットの配付だけでは対象者には読んでもらえないかもしれないので、事業所の健診担当者から何らかの声かけをいただけるようにしたほうが良いと思う。

次回の評議会開催予定について

令和3年10月の開催を予定。

以上